

上平井浄水場緊急遮断弁更新工事

特記仕様書

令和 8 年度

笛吹市公営企業部水道課

目 次

第1章	総 則	1
第1節	一般事項	1
第2章	機械設備一般仕様	3
第1節	一般事項	3
第2節	工事一般仕様	4
第3章	機械設備工事	5
第1節	機械設備	5

第1章 総 則

第1節 一般事項

1.1.1 適用範囲

この特記仕様書は、（公社）日本水道協会水道工事標準仕様書1-1-1-3-6で定める特記仕様書で、標準仕様書を補足し工事の施工に関する明細又は特別な事項を定めたものであり、
笛吹市の発注する上平井浄水場緊急遮断弁更新工事に適用する。なお、本仕様書に定めていない事項については監督員との打合せにより決定するものとする。

1.1.2 工事名

上平井浄水場緊急遮断弁更新工事

1.1.3 工事場所

笛吹市石和町上平井103番地 上平井浄水場

1.1.4 工期

契約日翌日 ～令和9年3月16日

1.1.5 工事内容

地下ピットに設置してある緊急遮断弁を撤去、既存機器と同等品以上の機器を設置する。
また、制御盤も撤去・設置する。

撤去した機器等は、有価物として市指定の処分先へ処分すること。

（鉄くず 約0.76 t）

既存機器：φ250×7.5kf電動バタフライ弁、φ250×7.5kf伸縮管、
φ250×7.5kf×440mm三フランジT字管、1500L×1400W×2200mmH遮断弁制御盤

1.1.6 施工計画書・変更施工計画書の提出

受注者は工事着手前に、施工計画書を監督員に提出し承諾を受けなければならない。なお、小規模工事においては監督員の承諾の下その一部を省略することができる。

1.1.7 法令、条例等の適用、諸官庁への手続き

本工事に関係ある法令、条例等はよくこれを遵守し、関係諸官庁等に対する必要な届出、手続き等は請負者がこれを代行するものとする。

1.1.8 準拠規格

本工事に使用する機器材料は、下記の現行標準規格等に準拠するものとする。ただし、特に指定ある場合はこの限りではない。

(1)水道施設設計指針（JWWA-日本水道協会編）

(2)日本産業規格（JIS）

(3)日本電気規格調査会標準規格（JEC）

(4)日本電機工業会標準資料（JEM）

(5)日本電線技術委員会標準資料（JCS）

(6)電気設備技術基準（経済産業省）

(7)内線規程（日本電気技術規格委員会）

(8)電気設備工事共通仕様書（国土交通省営繕局監修、営繕協会編）

1.1.9 機器、材料の検査

- (1)本工事で使用する機器、材料等で本市が検査を要求するものは、請負者はこれに応じること。
- (2)主要機器のうち本市が指定するものは、受入検査等を行なうこと。

1.1.10 安全衛生管理

- (1)本工事の施工にあたっては、労働安全衛生に関する法令を遵守し、就業者に対して常に徹底させ災害防止に万全の策を講じること。
- (2)本場所は水道設備であるので環境衛生には充分注意すること。

1.1.11 試験調整

- (1)現場据付工事完了後、監督員立会のもと、各機器設備の試運転調整試験を行い、設備全般の機能が完全に発揮できるように調整すること。
- (2)試運転調整試験については、メーカー派遣技術者により行うこと。

1.1.12 竣工検査および受渡し

- (1)本工事の完成にあたっては、関係官公署等の検査後に本市の竣工検査を受けるものとする。なお、竣工検査の際には機器・現場試験の試験成績書を提出すること。
- (2)竣工検査において指摘事項が有った場合は、速やかに改善し、再度検査を受けるものとする。
- (3)本工事の受渡し期日は、立会試験および竣工検査に合格した後とする。

1.1.13 材料保管

本工事竣工までの機器、材料の保管責任は請負者にあるものとする。

1.1.14 保証期間

本工事の保証期間は、受渡し完了後2ヶ年とする。保証期間中に、請負者の責任に帰すべき原因による故障が発生した場合、請負者は本市の指定する期間内に取替または修理すること。

1.1.15 完成図書

工事完了後下記の図書を整備し、製本のうえ提出すること。

- (1)施設設備完成図書
- (2)主要機器取扱説明書
- (3)工事写真
- (4)各種機器試験成績表
- (5)官公署ほか提出書類控
- (6)その他監督員の指示するもの

第2章 機械設備一般仕様

第1節 一般事項

2.1.1 規 則

本工事に使用する機器はJIS・JEM・JEC各規格に準拠するもので、本章の仕様によること。
なお、製作者及び調達品については以下の条件を付す。

1. 工事目的物の故障や不具合に対して、保守等に関する契約を締結するか否かに関わらず夜間及び休日でも修理等の対応、連絡体制が整備されている者であること。

2. 調達する機器等については、緊急かつ短時間のうちに修理に取り掛かれるようそのメーカーの保守その他アフターサービス体制が山梨県下に整備されているものを優先的に選定すること。

2.1.2 単 位

単位はSI単位によること。

2.1.3 付属品

各機器の付属品は、本仕様書に記載されているものの他、請負者において運転上必要と認めるものはすべて付属すること。

2.1.4 塗装色

塗装色は、原則としてメーカー標準色とする。

2.1.5 周波数

本地区は50Hz地区につき、定格周波数は50Hzとする。

2.1.6 荷造りおよび輸送

荷造りは厳重に施し、防湿処理を完全に行い、天地無用の品にはその旨を明記し、適当な転倒防止の方法を講じること。また、予備品は長期の保存に適すよう必要部分に錆止めを施し、ビニルにて包装または荷造りをして外部には内容・品名・数量を明記し、必要な場合には転倒防止の方法を講じ、保管上の注意事項を付記すること。

2.1.7 製作連絡

他工事と関連のある場合は、他工事の関係者と密接に連絡を保ち、全体として調和のとれたものとする。

第2節 工事一般仕様

2.2.1 機械据付工事

- (1)機器据付位置、据付方法は既設通りとする。
- (2)各機器の詳細な据付位置の決定にあたっては監督員と協議し、監督員の承認を得てから据付けること。
- (3)弁類の据付にあたっては、前後の配管と側管の取付等に注意し、水平または垂直に据付けること。

2.2.2 配管工事

- (1)管の製作加工規格は、日本工業規格(JIS)、日本水道規格協会(JWWA)によること。
- (2)工事に先立ち管体検査を行い、亀裂その他の欠陥の無いことを確認すること。また、内部は十分清掃を行うこと。
- (3)管の据付にあたっては、水平器等を使用し中心および高低を確認し、据付けること。
- (4)管を溶接する場合、溶接部は滑らかに仕上げること。
- (5)配管は、適宜サポートを取付け施工すること。

第3章 機械設備工事

第1節 機械設備

3.1.1 概要

本工事は既設の緊急遮断弁が老朽化したので更新するものである。
また、監督員と協議を行い給水に支障をきたさない事。

3.1.2 設備機器

- (1) 緊急遮断弁（電動式） $\phi 250 \times 7.5\text{kf}$ 1台
- (2) 屋外型緊急遮断制御盤 $1500\text{L} \times 1400\text{W} \times 2200\text{mmH}$ 1面
- (3) 流量計（将来） $4 \sim 20\text{mA}$ 出力 1台

3.1.2 工事範囲

本工事に含まれる工事範囲は下記の通りとする。

- (1) 緊急遮断弁・屋外式緊急遮断弁制御盤の製作
- (2) 既設機器搬出
- (3) 緊急遮断弁・屋外式緊急遮断弁制御盤の据付・配管・電気工事
- (4) その他上記に伴う諸工事

3.1.3 設備仕様

- 1) $\phi 250\text{mm}$ 緊急遮断弁
 - (1) 形式：バタフライ弁
 - (2) 数量：1台
 - (3) フランジ規格：JWWA B 136
 - (4) 面間：380mm
 - (5) 流体：上水
 - (6) 主要材質
 - 弁箱：FCD450-10
 - 弁体：FCD450-10
 - 弁棒：SUS403
- 2) 緊急遮断弁制御盤
 - (1) 形式：鋼板製屋外自立型前面扉型
 - (2) 数量：1面
 - (3) 電源：単相 100V
 - (4) 参考寸法： $700\text{W} \times 600\text{D} \times 1950\text{H}$
 - (5) 収納機器：無停電電源装置 UPS、操作電気機器
 - (6) 感知方式：過流量及び地震の組み合わせ又は単独選択可能なこと
 - (7) 付属品：1式 その他必要な物
- 3) 地震計
 - (1) 検知方式：内臓ピックアップ方式
 - (2) 数量：1組
 - (3) 測定範囲：加速度 $0 \sim 5000\text{Gal}$ 程度
 - (4) 警報段数：3段
 - (5) 警報設定： $0.1 \sim 1000\text{Gal}$ 程度